



碓東小通信 培根

安中市立碓東小学校

令和3年12月1日

NO.24

文責：峰岸

“あいさつは心をつなぐ魔法の言葉”

11月29日（月）～12月3日（金）まで、碓東小では2学期のあいさつ・へんじ運動が始まりました。3年生以上で「あいさつ・へんじリーダー」を募集し、20分休みや昼休みの5分間、率先してあいさつやへんじを行って来ています。また、30日には企画委員が、校門のところに立ち、一中生と一緒にあいさつ運動をしてくれました。

近年、いじめに代表されるように、人との関わりが上手にできなくて問題に発展することが多くの学校で起きています。人との関わりをもつためには、自分から心を開くことが大切であり、その第一歩があいさつではないかと思えます。毎朝、校門のところで交通指導をしていると、多くの子どもたちが笑顔であいさつしてくれます。しかし、表情に元気のない子もいます。そんな時は「あれっ、何かあったのかな」と心配になります。

“あいさつは心をつなぐ魔法の言葉”です。今後もぜひ、家庭でもあいさつに力を入れていただき、「おはよう」「ってきます」「行ってらっしゃい」「いただきます」などのあいさつが盛んに聞こえるようにしていただければ幸いです。



2020東京オリンピックのトーチをお借りしました



5年生の小室絵瑠さんのお母さん（稚江さん）が、今年行われた東京オリンピックの聖火ランナーに選ばれて、3月31日に高崎市内を走ったそうです。その時に使ったトーチをぜひ碓東小の子どもたちにも見てもらいたいということで、実物をお借りしました。実物のトーチを見たり、手に取ったりできる機会は、なかなかないと思えますので、ぜひ子どもたちに見てもらいたいと思えます。12月3日（金）まで、校長室に展示してあります。



コサージュ作りお世話になりました

碓東小では、卒業式に卒業生が付ける胸花（コサージュ）を保護者ボランティアによって手作りをしています。11名のボランティアの方に集まっていただき、講師の新井直美先生のご指導の下、素晴らしいコサージュが完成しました。今から卒業式が楽しみです。参加して下さったボランティアのみなさん、ありがとうございました。

